

令和2年度

小松市音楽賞

小松市音楽賞は、音楽文化の振興と次世代へつなぐ人づくりを目的とし、今年度新設されました。洋楽、邦楽、舞踊など広く音楽に関わる分野において、全国規模以上の大会で顕著な成績を残された個人・団体や音楽文化の振興に貢献された人に贈られます。

11月15日(日)に開催される小松文化の祭典リードこまつで贈呈式が執り行われ、受賞者による披露もあります。

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8130



たにだ しゅうふう
谷田 琇風(加代子)さん
(石川詩吟小松支部吉革会)

2019年の第7回全国俳諧歌吟詠大会で諏訪市長賞(第1位)を受賞。「小松には素晴らしい先生がたくさんいらっしゃることに感謝し、これからも目標を持って詩吟を続けたい」と練習に励んでいます。



しいのき ゆい
椎木 優衣さん
(小松市立高校芸術コース
音楽専攻3年生)

2019年の第22回ジュニア・サクソフォンコンクールで全国優勝。「気持ちを含めて演奏することを心掛けており、大学生になったらカルテットにも挑戦したい」と語ってくれました。

栄光賞



なかがわ しげつ
中川 紫月(正子)さん
(渡川流剣詩舞道小松会)

2019年の第28回日本伝統文化吟友会 吟剣詩舞コンクール 全国決勝大会の剣舞一般三部で優勝。



たけうち かえで
竹内 楓さん
(小松市立高校芸術コース
音楽専攻卒業)

2020年のジュニアソロホルンコンクール20歳未満の部で第2位を受賞。

奨励賞



やまもと くにお
山本 国士さん
(小松市合唱協会会長)

長年にわたり、数々の合唱団で指揮者・指導者を務めるとともに、市民が気軽に参加できる合唱の場づくりを行い、小松市の合唱文化の醸成に貢献しました。

功労賞



2019年の第42回全日本おかあさんコーラス全国大会でひまわり賞(優秀賞)を受賞。

女声合唱団 コール・リプル

受賞おめでとうございます。



文化賞

小松市文化賞は、昭和39年に創設され、芸術、産業、経済など広く文化の発展に尽くし、活躍された人にお贈りしています。

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8000



小松マテール(株)代表取締役会長
なかやま けんいち
中山 賢一さん(河田町)



元公立小松大学副理事長
(兼)小松短期大学学長
こめたに つねひろ
米谷 恒洋さん(大和町)

昭和39年に小松精練(株)へ入社以来、時代と市場ニーズを捉え、常に改革に挑み続けている中山さん。染色を基盤に、衣料分野はもちろん、建築、医療など幅広い分野で事業を展開し、未来志向で繊維産業の新たな可能性を拓いてきました。

自然との共生の中で価値ある商品を世界へ

し、世界に誇る商品開発や人材育成に力を注がれています。

特に「自然との共生」をテーマに、最先端の技術を用いて地球環境に配慮した新たな商品は、小松マテール(株)の重要事業に育っています。また、木場潟の水質浄化に大きく貢献されたほか、セラボ九谷の整備にも尽力されるなど、文化の発展に寄与されました。

「技術力を武器に知恵を絞って開発を続ける」と語る中山さんの情熱あふれる語り口はこれからも広がっていきます。

米谷さんは、昭和37年に(株)北國銀行へ入行。平成4年に取締役、平成16年に副頭取として、地域の商工業の活性化、特に中小企業経営者の育成など、地元産業界全体の発展に熱心に取り組みされました。

また、幅広い知見をもとに、(株)こまつ賑わいセンター代表取締役社長として、小松うどんなど地元グルメのブランド化を推進されたほか、こまつ曳山交流館みよっさ五人衆委員会として、伝統文化の継承に尽力するなど、

小松の地域発展とひとつづくりを牽引

地域創生・活性化に多大な貢献をされました。

さらに、小松短期大学理事長及び学長、公立小松大学副理事長を務められ、地域の未来を担う人材育成に貢献するとともに、大学4年制化に向けて重要な役割を果たされました。

「モットーは『やればできる』。若い人には何事も恐れず挑戦し、経験を積んでほしい」。そう語る米谷さんの優しい瞳の奥からは、小松の未来への熱い想いと自信が伝わってきます。